年間授業計画　様式

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　家庭　　科目 家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　3 組

教科担当者：（１組：小林雅実　（２組：宮武紀加　）（３組：小林雅実

使用教科書：（ 家庭基礎　教育図書　　）

教科　家庭　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 生活設計 【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの目標を想定し，そのために必要なことやリスクについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 各ライフステージごとの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組む。	自分の将来について考える ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 【思考・判断・表現】 自分の人生について想像し，まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。	○	○	○	4
	B 青年期と家族 【知識及び技能】 青年期について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭について様々な観点から考える。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの家庭生活と社会の関わりについて考え自分の問題として捉える。	自分らしい生き方と家族について考える ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 青年期に必要な5つの自立を理解している。 【思考・判断・表現】 これからの家族・家庭のあり方について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族の形や性のあり方に関心をもち，男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	C 高齢期 【知識及び技能】 高齢社会の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。	高齢者と高齢社会への理解を深める ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立を支えるために，家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の生活と福祉の課題解決に主体的に取り組む。	○	○	○	4
	E 保育 【知識及び技能】 子どもの成長と保育の在り方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健全な発達のために必要な環境について考え、まとめたり発表したりする。	子どもの育つ力を知る。これからの保育環境 ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が将来，保育に関わる存在であることを理解し，自分ごととして学習に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2学期	D食生活 【知識及び技能】 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 配膳やマナーに関心を持つ。	食事と栄養・食品、食生活の選択と安全、調理の基礎 ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ライフステージごとの食生活の課題と改善策について、理解している。 【思考・判断・表現】 自身の食生活を分析し，現代の食生活の傾向と課題と比較して，まとめたり，発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について課題解決に主体的に取り組む。	○	○	○	10
	F　衣生活 【知識及び技能】 人間の生活と衣服のかかわり，衣服のおもな機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 購入，活用，手入れ，再利用や廃棄まで考え，衣服計画をたてることができる。	衣服の働き、衣服の計画と管理 ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 被服の機能と健康に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 衣生活に関する学習を通して自身の着装について考え，まとめたり，発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服の機能や安全性，環境への配慮などの知識を生かして，自分の衣生活を改善しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3学期	G　住生活・環境 【知識及び技能】 人と住まいとのかかわりや，住まいの機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	安全で快適な住居、環境を考えた生活 ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等購入	【知識・技能】 環境性能について理解を深め、住居の条件を理解する。 【思考・判断・表現】 住居の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 住生活と住環境について、課題解決に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	H 経済計画・消費生活 【知識及び技能】 家計の仕組みと消費者の責任を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日々の消費生活について，その背景や社会への影響について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な経済成長の実現について、考え実践しようとする。	家計と社会のかかわり、消費者の権利と責任 ・教材　生活学Navi ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 消費行動における意思決定とその要因を理解している。 【思考・判断・表現】 責任ある消費について問題を見出して課題を設定し、解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費問題について自分ごととして捉え、課題解決に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70